

# 浜通りにおけるアスパラガス促成栽培の伏せ込み適期

福島県農業総合センター 浜地域研究所

## 1 部門名

野菜 - アスパラガス - 作型・栽培型、浜通り平坦

## 2 担当者

常盤秀夫・水野由美子

## 3 要旨

浜通り北部における県オリジナル品種「ハルキタル」の促成栽培においては、根の糖度がBrix20程度に上昇する時期(11月中旬～12月上旬)に伏せ込むと良いことがわかった。

- (1) 株養成中の根の糖度は、時期が遅くなるにつれて上昇し、2007年は12月上旬、2008年は11月中旬以降、Brix値で20を超え、最大で23～24まで上昇した。
- (2) 収量は、2007年は12月上旬、2008年は11月中旬以降の伏せ込みであれば、1株当たり200g(10a当たり350kg相当)を超えた。また、最大では2008年12月上旬伏せ込みで300g/株となった(図1、2)。
- (3) 伏せ込み時の根の糖度と収量の関係を見ると、1株当たり200g(10a当たり350kg相当)の収量を得るのに必要な糖度は20程度であった(図3)。

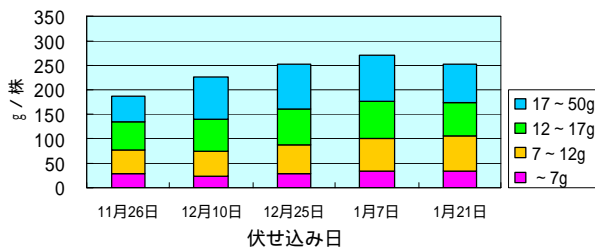


図1 伏せ込み時期別収量 2007年  
(収穫開始から70日間)

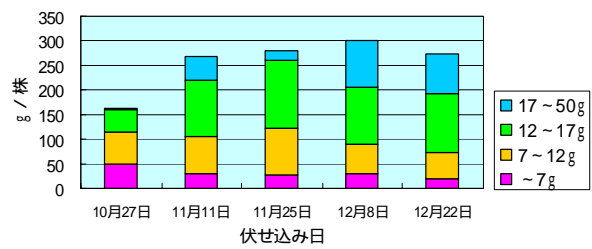


図2 伏せ込み時期別収量 2008年  
(収穫開始から70日間)

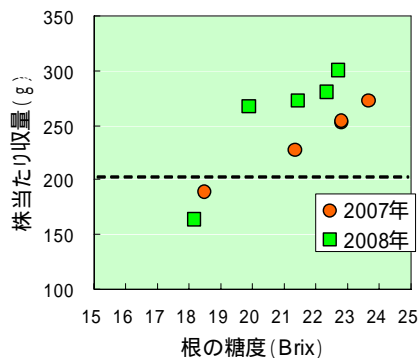


図3 根の糖度と収量の関係

## 4 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度試験成績概要(2009)